

2024 年 10 月 1 日
日本製薬団体連合会
会長 岡田安史

新内閣発足を受けて

2024 年 10 月 1 日に石破内閣が発足しました。物価高、災害リスク、外交・安全保障、地方創生など山積する課題に立ち向かい、日本経済が力強く成長するとともに、安全・安心の国民生活を実現する政権運営を期待しております。社会保障制度につきましては、少子高齢化の進展などにより保険財政がひっ迫し国民皆保険の持続性が喫緊の課題となっております。1961 年の制度創設時から 80 年余りを経て、平均寿命の延伸、疾病構造の変化、労働力人口の減少など環境が大きく変化していることを踏まえ、持続可能な制度へと改革していくことが求められております。製薬業界は革新的新薬の創出、医薬品の安定供給を通じて、疾病の予防・克服、労働生産性の向上、そして健康寿命の延伸による「支えられる側」から「支える側」への転換を促すとともに、社会保障制度のあり方に関する議論に積極的に参画してまいります。石破内閣が重要課題の一つと位置付ける安全保障の観点からは、原薬の海外依存度が高い抗菌薬の供給問題や新型コロナウイルスワクチン開発の遅れなど、医薬品は国家の存続に関わる非常に重要な物資であることが改めて認識されました。製薬業界は、産官学の緊密な連携を通じて世界に誇る「創薬エコシステム」を構築し最先端の科学技術を駆使した革新的新薬を創出し続けるとともに、サプライチェーンの強靱化を図ることのできる事態にも高品質の医薬品の安定供給を確保し、国民の健康増進に加え、安全保障の強化にも全力を尽くしてまいります。

新内閣につきましては、製薬産業に対する一層のご理解と官民一体となった医薬品の研究開発・製造・供給基盤、そしてイノベーションを適切に評価するとともに医療上不可欠な基礎的な医薬品の安定供給を下支えする薬価制度の確立にご尽力いただけますよう期待申し上げます。

(以 上)